

～第8回～

語り継ぎたい豊平の歴史

～豊平町合併50年～

豊平区の地域は昔、「豊平町」という町の一部でした。1961(昭和36)年5月1日、豊平町は札幌市と合併しました。今年でそれからちょうど50年になります。

しかし、合併に至る道のりは、決して平坦なものではありませんでした。

今月は、当時豊平町の職員だった方などのお話を交えながら、その道のりを振り返ります。

写真1 昭和36年3月10日、合併反対派の住民が町長、議長、議員の議場への入場を阻止しようとしたため、警官隊が出動した



図 合併直前の豊平町

五十年前の豊平町は、現在の清田区、南区を含むとても広い町でした(左の図参照)。一九五八(昭和三十三年)には、人口六万二千人を超え、町村では全国一位でした。町民の多くは札幌市に通勤、通学しており、札幌市と一体となった都市計画を望むようになっていました。

十年越しの懸案だった
札幌市との合併問題

豊平町合併の動き

- 1948(昭和23)年11月
札幌市合併調査特別委員会設置
- 1952(昭和27)年12月
豊平町境界変更調査特別委員会設置
- 1954(昭和29)年3月
豊平町札幌市合併調査特別委員会設置
- 1956(昭和31)年4月
豊平町自治振興調査特別委員会設置
- 1957(昭和32)年6月
合併推進派の本間義孝町長当選
- 同年9月
豊平町札幌市合併調査特別委員会設置
- 1958(昭和33)年4月
豊平町を市に昇格させる案が町議会で可決される
- 同年12月
町議会で札幌市との合併案否決
- 1959(昭和34)年2月
町議会で合併案が再び否決
- 同年4月
町議会議員選挙で合併賛成派が多数を占める
- 同年6月
豊平町札幌市合併特別委員会設置
- 1961(昭和36)年3月
町議会で合併案可決
- 同年5月
豊平町、札幌市と合併

一方、札幌市でも膨らむ人口のための住宅地の確保や、観光地である定山溪、豊富な水源である山地の獲得などの理由で合併を望む声がありました。

合併案
二度否決される!

合併について、豊平町では戦後間もなく検討は始まりましたが、推進派の本間義孝町長が選挙で当選した一九五七(昭和三十二年)年六月ごろから本格的になっていきます。

一方、札幌市でも膨らむ人口のための住宅地の確保や、観光地である定山溪、豊富な水源である山地の獲得などの理由で合併を望む声がありました。

しかし、一九五九(昭和三十三年)四月の町議会議員選挙では、定数三〇のうち合併に賛成する議員二〇人が当選し、多数を占めました。これにより、合併への機運は一気

賛成派議員が
多数当選

この背景には、「市に昇格した方が対等の立場で合併ができるのではないか」、「合併すると、主に農業を行っている地域や森林資源が守られないのではないか」などと懸念する住民の意見があったようです。

その後、同年十二月と翌一九五九(昭和三十四)年二月の町議会で、札幌市との合併案は否決されてしまいました。

